

($\$$)
留萌大会

1996/9/19

留萌高等学校



1996年9月19日創立

✓			✓
✓	✓		
✓	✓	✓	✓
✓	✓	✓	

「留萌大会を顧みて」

元留萌高校 松木 勝徳（留萌大会高校部会事務局長）

この年の留萌高校は、留萌工業高校と本校の商業科が併合した留萌千望高校の計画や、7月末の全道の家庭科教育研究大会の当番校などがあり、非常に慌しい状況にあった。こんな中で、なんとか役目を果たすことができたのは、本校の数学科教員のまとまりのよさと、管内の数学の先生方の積極的な協力のお陰であったと感謝している。

特に、この大会の全体の計画を立て、推進してくれた留萌市内の小・中学校の役員の先生方の緻密な計画と、この大会を成功させようとする意気込みを会議に出席する度にひしひしと感じさせられた。こんな中、高校都においても予想以上の参加者が集まり、盛大に開催することができ、終了後、役目を果たした満足感にひたったことが思い出される。

何といっても、この大会の当番校としての一番の成果は、普段ほとんど交流のない、小・中学校の数学の先生方と知り合い、これまでほとんどなかった交流ができたことである。留萌町内の小・中学校、管内の高校とは、何かあれば話し合えるという土台ができた。これが他の教科にはない北数教の一番良い所だと感じられた。

私としては、今回のパソコンを使った公開授業を見ながら、新しい時代の数学教育を見ることができたことを、今でも印象深く残っている。

今後とも、北海道の数学教育の推進のために、この会がますます発展されることを期待しております。

「研究授業の思い出 ～北数教留萌大会を終えて～」

月寒高校 上北 公司（研究授業者）

平成8年10月に留萌高校で行なわれた第51回北数教留萌大会では、私は担任をしていた3年8組（理系クラス）で研究授業を行ないました。私は巡り合わせが良く（？）旭川でも北数教の大会のお手伝いをして、留萌大会の前年にはプレ大会もしました。プレ大会では、「コンピュータを使った授業をしてくれないか」と依頼を受けて、何事も経験だと思い、不慣れではありましたが、「関数ラボ」を使った研究授業を何とか実施することが出来ました。（この研究授業終了後は、ほとんどコンピュータを使わず、生徒にはあれは何だったのかと思われましたが）

さて、留萌大会の研究授業では、3年生は受験前なので研究授業をしている場合ではないと思いながらも、生徒44名に「部活動で残念ながら全道大会に行けなかった人、今日の授業は全道大会です。全道出場おめでとう！」などと、冗談を言った記憶があります。

また、この研究授業の前日には懇親会もあり、私は受付をしましたが、次の日のことが気になり、ゆっくりと飲めるという状況ではありませんでした。「懇親会は研究授業が終わった後ならば良かったのになあ」とつくづく思いました。研究授業のあと研究発表の司会もあり、とにかくバタバタしてとても慌しかったという印象が強いです。

しかしながら、留萌大会をやり終えた後はこの上ない充実感・満足感があり、また自分自身にも自分の授業を見直す良い機会・経験になり、現在も当時の留萌高校の数学科の先生方とお会いしたり飲んだりする度ごとに、数学科全員で団結・一致協力してやり遂げた北数教留萌大会のことが話題になります。そういう意味でも、旭川商業高校から留萌高校に転勤したときに「留萌で北数教の大会がある」と聞いたときは「そんなの聞いてねーよ」と思い、準備や本番の大会はとても忙しかったのですが、今となっては教員人生において（今風の言い方で）「チョー素晴らしい思い出」と心から言えます。

